

「新型コロナウイルス」に対する学校の対応策について

2020年2月3日
ミッドリーム日本語学校
校長 山田貴彦

現在、中国武漢市を中心に「新型コロナウイルス」の感染が蔓延しています。このコロナウイルスの感染力の強さと死傷者が出ている現状を踏まえ、本校では1月28日より以下のような対応を取っています。

この対応につきましては、文部科学省が1月29日と1月30日に全国の小学校・中学校・高等学校、大学、専門学校、各種学校、その他教育関連機関宛に出した通知に準拠した形で行っています。

対応方針

1. 1月14日以降中国から日本に入国した生徒については、2週間の自宅待機を命じ、その間は休学とする。
2. 休学期間内に体調を崩した生徒については、医療機関への受診を勧める。
3. 休学が明けた時に体調を崩している生徒については、医療機関受診し、感染が認められないことがわかってから登校を許可する。
4. 教職員についても、1～3と同様の対応をする。
5. 校内各所にアルコール消毒薬を用意し、感染症全般に対する予防を促す。
6. うがい、手洗い、咳エチケット、十分な食事と睡眠などの感染症全般に対する予防を促す。

※上記対応につきましては、新型コロナウイルスの蔓延状況が変わったり、文部科学省や厚生労働省が新たな方針を出したりした際には、対応方針を変えていく予定です。

今日現在、日本国内においても本校においても新型コロナウイルスの流行は認められていません。本校の学生、教職員、関係者の皆様におかれましては、上記対応方針を守った上で、落ち着いて行動していただければと思います。

※参考 厚生労働省 HP に掲載されている「国民の皆様へのメッセージ」（2020年2月3日時点）

○ 新型コロナウイルス感染症は、我が国において、現在、流行が認められている状況ではありません。国民の皆様におかれては、風邪や季節性インフルエンザ対策と同様にお一人お一人の咳エチケットや手洗いなどの実施がとても重要です。感染症対策に努めていただくようお願いいたします。

○ 武漢市から帰国・入国される方あるいはこれらの方と接触された方におかれましては、咳や発熱等の症状がある場合には、マスクを着用するなどし、事前に保健所へ連絡したうえで、受診していただきますよう、御協力をお願いします。また、医療機関の受診にあつては、武漢市の滞在歴があることまたは武漢市に滞在歴がある方と接触したことを事前に申し出てください。